

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成25年5月2日(2013.5.2)

【公開番号】特開2011-197198(P2011-197198A)

【公開日】平成23年10月6日(2011.10.6)

【年通号数】公開・登録公報2011-040

【出願番号】特願2010-62037(P2010-62037)

【国際特許分類】

G 02 B 7/02 (2006.01)

H 04 N 5/225 (2006.01)

【F I】

G 02 B 7/02 C

H 04 N 5/225 D

【手続補正書】

【提出日】平成25年3月12日(2013.3.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

22は磁石と摩擦材とを接合して構成され、後部鏡筒13に固定されたスライダ(接触部材)である。第5移動枠5におけるスライダ22に対向する位置には、電気・機械エネルギー変換素子と該電気・機械エネルギー変換素子により振動が励起される板状の弾性部材とにより構成された振動子(不図示)が固定されている。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0044

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0044】

振動子の弾性部材は強磁性体であり、該強磁性体がスライダ17の磁石と引き合うことにより、スライダ17の摩擦材の圧接面と振動子の弾性部材において光軸方向2箇所に形成された圧接面とが圧接される。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0045

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0045】

これらスライダ17および振動子18によって構成される振動型リニアアクチュエータでは、フレキシブル配線板(不図示)を介して2つの位相が異なる周波信号(パルス信号又は交番信号)が電気・機械エネルギー変換素子に入力される。これにより、振動子の圧接面に橈円運動が発生し、スライダ17の圧接面に、撮像素子保持枠10を光軸方向に移動させるための駆動力が発生する。